

# 令和2年度 事業報告書

吉賀町社会福祉協議会

## 【目次】

### I. 法人運営事業

### II. 在宅福祉部

#### 《1》総合相談支援課

- 〈1〉総合相談支援所・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 〈2〉吉賀町訪問看護ステーション（訪問看護事業）・・・・・・・・13
- 〈3〉吉賀町ケアマネセンター（居宅介護支援事業）・・・・・・・・14
- 〈4〉吉賀町地域包括支援センター（地域包括支援センター事業）・・17
- 〈5〉アスノワ（障がい者就労継続支援事業）・・・・・・・・・・20

#### 《2》介護保険課

- 〈1〉吉賀町ホームヘルパーステーション（訪問介護事業）・・・・23
- 〈2〉六日市デイサービスセンター（通所介護事業）・・・・・・・・25
- 〈3〉七日市デイサービスセンター（通所介護事業）・・・・・・・・27
- 〈4〉柿木村デイサービスセンター（通所介護事業）・・・・・・・・29

### III. 施設福祉部

- 《1》特別養護老人ホームみろく苑（介護老人福祉施設事業）・・・・31
- 《2》特別養護老人ホームとびのこ苑（介護老人福祉施設事業）・・・・34
- 《3》グループホームあさくら（認知症対応型共同生活介護事業）・・・・37

### IV. 苦情・要望の内容一覧表

## I. 法人運営事業

《今年度の主な取り組みと評価》

- 地域福祉活動をはじめ介護保険サービスや障害福祉サービスなどすべての事業において、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。週1回の定期会議と臨時会議を含め計57回の対策会議を開催し、最新の情報の共有と感染防止対策について協議しました。年度当初に法人の事業継続計画（BCP）感染症編を策定し、その後県のガイドラインの改正に沿って事業継続計画（BCP）を改定し、すべての事業所において新型コロナウイルスの感染防止に努めました。感染症対策備品については、国・県・町からの交付金や補助金により対応しました。
- 令和2年度は様々な地域活動が中止となり、住民同士のつながりが薄れる時期がありました。しかし、ふれあいサロンにおいては、地域の状況に応じてリーダーが主体的に運営方法を工夫され、すべての地区において事業を再開することができました。またこの時期だからこそ必要な地域のつながりについて、地域住民や職員に対して研修会を行い啓発に努めました。
- つながりを保ちつつ安心して暮らせるまちづくりに向けて、地域福祉の基盤となる第3期地域福祉活動計画の策定を行い、町と連動したビジョン設定を行うことができました。
- 令和2年度から生活困窮者自立支援事業においてアウトリーチ支援事業（主には引きこもり者の支援）を取り組みました。事業開始に伴い新たに支援開始となったケースもあり、総合相談支援の機能拡大が図れました。
- 自立支援介護について、特養を中心に研修を実施し理解を深めていく予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大によりシステムの導入をはじめ、計画通りに進めることができませんでした。
- 全事業所で目標援助制度を活用した人事評価制度に取り組むことができました。運用にあたっての課題も明らかになり、令和3年度の本格運用に向け動き出すことができました。

### [1] 活動体制

#### (1) 役員

会長	石井 澄男	副会長	木村與志雄
理事	桑原 恒夫	理事	田村 惇
理事	平田 京子	理事	齋藤 弘子
理事	楨田 祥恵	理事	三家本博子
理事	永田 英樹	理事	滝元 理恵
監事	上田 重夫	監事	田村 俊則

(2) 評議員

村上 貢	田口 忠功	赤松 正
小田 善史	横田通知雄	小田 圭二
村本 智	白井 秀雄	手島 秀知
植木由美子	能美 直文	朋澤 公香
小田 敦子		

(3) 理事会の開催

第1回	6月8日
第2回	7月16日
第3回	8月7日
第4回	9月7日
第5回	11月9日
第6回	1月18日
第7回	3月19日

(4) 評議員会の開催

第1回	6月22日
第2回	8月24日
第3回	9月17日
第4回	11月19日
第5回	1月28日
第6回	3月29日

(5) 部会の開催

・管理部会	第1回	10月29日		
・地域福祉部会	第1回	10月16日	第2回	12月15日
・監事会	第1回	6月3日	第2回	8月27日
	第3回	11月4日	第4回	3月11日

(6) 職員数 212名（男性46名・女性166名）令和3年3月末

[2] 研修等

研修内容	参加者
役員研修「海外人材の採用と活用に向けたトレンド」 (オンライン)	役職員 17名
権利擁護研修	全職員
メンタルヘルス研修	全職員
地域づくり研修「社協活動の本質」	全職員

新人職員研修	4名
管理職研修「人事評価」「請求事務」「財務管理」	主任・所属長
「顧問弁護士による法的実務についての研修」	〃
社会福祉法人会計実務研修	2名
監事研修	4名
高齢者雇用支援セミナー	1名
労務管理研修	1名
社協トップセミナー（オンライン）	2名
地域福祉推進セミナー（オンライン）	1名
地域福祉推進委員会（オンライン）	1名
福祉避難所の設置等に関する実務研修	2名
福祉教育実践研修会（オンライン）	2名
ふくしの学び合い推進セミナー	2名
災害ボランティアセンター運営勉強会	1名
県内社協事務局長会議（オンライン）	1名
市町村共同募金委員会事務局長・担当者会議（オンライン）	2名
新型コロナウイルス感染症対策会議（毎月曜）	経営層

## Ⅱ. 在宅福祉部

### 《1》 総合相談支援課

#### 〈1〉 総合相談支援所

##### 1、 事業の主な取り組みと評価

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念に地域福祉を推進するため、行政、関係機関、団体と連携、協同を進めながら、地域住民が主体的に福祉活動に参加するように促しました。共に支え合うことができる地域になるよう、小地域ネットワーク事業による独居高齢者への見守り活動などを働きかけてまいりました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4月7日より5月25日まで緊急事態宣言が発令されました。その後も人と人との接触が遮断される中、どういった方法であれば、住民同士のつながりが保たれるかを考えながら、地域づくりを実施しました。

生活支援体制整備事業においては、公民館単位で地域の課題把握につとめ、行政はもとより、保健所や教育委員会とも連携を図り、地域包括ケアシステム構築に向け取り組みました。

##### 2、 事業実績

###### (1) 地域福祉事業

住民とともに地域での支え合いを行っている福祉団体に対して、活動支援を行いました。

町内の福祉に関する情報や制度について社協だより等を通じて発信し、福祉に対する意識向上や社会福祉協議会への理解が深まるよう努めました。

社協会費の募集 160 地区： 1,792,700 円

種 別	件 数	金 額
一 般	1,700 件	1,695,700 円
賛 助	23 件	46,000 円
団 体	2 件	8,000 円
特 別	14 件	43,000 円

社協だより・福祉情報の発行： 年 12 回

福祉団体への協力（福寿会、老人クラブ等）

###### (2) 住宅改良助成事業

在宅の高齢者や身体障害者及び介護者の日常生活が円滑に行えるよう、バリアフリー等への改良費に対し、日常生活に必要不可欠な住宅内外の助成対象経費として助成いたしました。

助成件数 2 件 274,000 円

### (3) 心配事相談事業

地域住民の抱える人権問題・福祉問題等さまざまな心配ごとの相談に対しての解決策を見つけるため、福祉センター・公民館において相談事業をおこないました。

ふくし何でも相談会	12 回実施、相談件数	5 件
弁護士相談会	12 回実施、相談件数	39 件
行政書士相談会	4 回実施、相談件数	2 件
公証役場相談会	2 回実施、相談件数	1 件

### (4) ボランティア事業

町民のボランティア活動の推進を図るため、ボランティア組織の支援を行いました。また小・中・高校生向けにサマーボランティアスクールを開催し、ボランティアや福祉の専門職について学ぶ機会にしました。社協で実際に働いている職員からその専門職の役割ややりがいを伝えたことで、福祉の仕事に興味をもったという感想が得られました。

六日市福祉ゾーン周辺清掃活動	(コロナで中止)
柿木福祉ゾーン周辺清掃活動	(コロナで中止)
サマーボランティアスクール (中・高校生)	24 名
サマーボランティアスクール (小学生)	10 名
歳末たすけあい「おせち料理配食サービス」	221 名
訪問員配置事業 (契約に基づき独居等のお宅を月 1~2 回訪問)	
登録訪問員数	8 名
新規契約件数	2 件
契約利用者数	8 名

### (5) 小地域ネットワーク事業

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう、隣近所に住む人々が「見守り活動、安否確認、簡単な生活援助」を行うことで、地域のなかで助け合える組織づくりを推進しました。支え合いマップを活用し、地域内で見守りが必要な方の把握と同時に危険場所の確認もおこない、総合的な情報把握に努めました。

7 地区を対象に、新たな見守り方法を模索するための小地域ネットワーク研修会を開催しました。

活動地区数： 25 地区

	地区	開始年月		地区	開始年月
1	樋口	平成 13 年 9 月	14	有飯	平成 18 年 4 月
2	上高尻	平成 14 年 7 月	15	山根・田丸	平成 19 年 4 月

3	幸地	平成 15 年 1 月	16	注連川	平成 20 年12 月
4	下高尻	平成 15 年 4 月	17	沢田	平成 20 年12 月
5	蔵木	平成 15 年 8 月	18	六日市新町	平成 21 年 1 月
6	朝倉	平成 16 年 4 月	19	野中	平成 21 年 7 月
7	田野原・星坂	平成 16 年 4 月	20	七々村	平成 22 年 8 月
8	広石	平成 16 年 7 月	21	横町・久保田	平成 26 年10 月
9	九郎原	平成 16 年 7 月	22	下須	平成 30 年 5 月
10	初見・新田	平成 16 年 8 月	23	白谷	平成 30 年 6 月
11	立河内	平成 16 年 8 月	24	畑詰	令和 2 年 3 月
12	立戸	平成 17 年 6 月	25	抜月	令和 2 年 3 月
13	七日市 (奥)	平成 17 年 6 月			

住民支え合いマップの取り組み：3 地区

元気旗揚げ運動実施：15 地区

#### (6) 訪問給食事業（食の自立支援事業）

管理栄養士と連携し、高齢者が不足しがちなタンパク質を、食べやすい形で取り入れた訪問給食を提供しました。食材も町内の材料を主に使用しました。配達には地域のボランティアにより、安否確認も併せて取り組みました。緊急事態宣言の発令等によりボランティアによる調理が出来ない期間には、町内の飲食店の支援もかねて弁当の調理を依頼し、職員が声かけを行いながら配食を行いました。その際には小さな変化にも気を配るよう心掛けました。

月曜日・木曜日に実施

利用登録者 : 104 名

年間配食数 : 7,237 食

配食ボランティア : 104 名 調理ボランティア : 41 名

#### (7) 地域住民支援事業（ふれあいサロン）

閉じこもりがちな高齢者が気軽に通える場の一つとなるよう、コーディネーター派遣等を行いました。また講師派遣や支援メニューの提供を通じて介護予防にも貢献しました。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響でふれあいサロンが休止となった期間があり、このような状況の中どうすれば地域の中でつながりが持てるかを考える機会となりました。サロンの再開にあたっては感染対策をふまえた内容にするため、各地区の状況に応じてサロンリーダーが主体的に運営方法を工夫されました。これらをきっかけに、改めて地域の力を感ずることができました。

サロン実施地区 : 35 地区

開催回数 : 214 回

参加延べ人数 : 2,812 人



車両貸出 : 2地区  
 サロン実施地区 開始年月

1	抜月	平成 11 年	19	六日市上	平成 18 年 6 月
2	樋口	平成 13 年 6 月	20	下須	8 月
3	朝倉	7 月	21	野中	8 月
4	上高尻	平成 14 年 8 月	22	福川	9 月
5	幸地	10 月	23	蓼野	12 月
6	下高尻	平成 15 年 4 月	24	六日市新町	平成 19 年 4 月
7	蔵木	4 月	25	白谷	4 月
8	田野原・星坂	9 月	26	山根・田丸	4 月
9	伊勢原	11 月	27	柿木	4 月
10	初見・新田	平成 16 年 4 月	28	椋谷	8 月
11	九郎原	4 月	29	木部谷・大野原	9 月
12	沢田	4 月	30	上七日市	平成 21 年 9 月
13	立河内	4 月	31	栈敷	10 月
14	広石	6 月	32	七々村	10 月
15	注連川東	平成 17 年 1 月	33	横町・久保田	平成 22 年 7 月
16	注連川西	2 月	34	河津	平成 23 年 7 月
17	立戸	4 月	35	令和 (抜月)	令和 元年 5 月
18	有飯	平成 18 年 2 月			

(8) ふるさと福祉事業 (軽度生活援助事業)

在宅のひとり暮らし高齢者等の自立した生活の継続を可能にするため、住民のボランティアの参加により、軽度の日常生活の援助を行いました。

作業内容：屋内作業 (居室の清掃)、屋外作業 (自宅周辺の除草)

延べ利用者： 36 名

延べ協力者： 48 名

院内介助

延べ利用者： 82 名

(9) 資金貸付事業 (民生融金貸付)

低所得者に対し、日常生活上緊急的に必要な資金を一時的に貸し付け、福祉の増進を図りました。相談に応じ、申請書類作成の支援を行いました。また、長期滞納者に対して、民生児童委員と連携を図りながら、訪問し、償還指導を行いました。

貸付件数	26 件
新規貸付件数	9 件
新規貸付決定額	330,000 円
償還終了件数	10 件

#### (10) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯・障がい者世帯・高齢者世帯に対し経済的な自立を促す目的で資金の貸付を行いました。

生活福祉資金の相談を受け、申請書類等の作成を支援しました。滞納者に対し、県社協や民生児童委員と連携を図りながら償還指導を行いました。調査委員会を年1回開催し、適切な運営に努めました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収入が減少した方への一時的な資金として、緊急小口資金の相談と貸付への対応を行い、生活の継続を図りました。

総貸付件数	22 件（内、緊急小口資金 11 件）
新規貸付件数	12 件
新規貸付決定額	3,020,000 円
償還終了件数	3 件
相談受付件数	18 件

#### (11) 法人後見事業

判断能力が不十分な方の後見人となり、被後見人の権利、財産を保護し安心して生活してもらうよう支援しました。益田・鹿足後見センターの定例会に毎月参加し、情報交換を行いました。

2021 年 3 月末利用件数	3 件
新規利用件数	1 件
終了件数	1 件

#### (12) 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

判断能力の不十分な方を対象に福祉サービスの利用にあたっての援助および日常生活部分の金銭管理の支援を行いました。

利用件数	9 件
新規利用件数	4 件
終了件数	1 件

(13) 吉賀町福祉センター管理運営事業

吉賀町から指定管理者として委任を受け、環境整備に努め福祉センターの適正な管理を行いました。

町民の健康増進、研修、福祉団体の集まり等に対して、施設の貸出を行いました。

大会議室	37回
中会議室	3回
小会議室	20回
トレーニング室	23回
調理室	7回

(14) 自立相談支援事業（生活困窮自立支援事業）

生活に困窮されている方の相談に応じ、困窮状態から早期に脱却できるよう、必要な情報提供や助言を行い、関係機関と連携しながら、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援により、自立の促進を図りました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、休業や職を失ったため所得の減少となった方からの相談が多くありました。

新規相談件数	21件(男性13件、女性8件)
相談内容：病気	2件
経済的困窮	6件
就職困難	3件
その他	12件
支援実績 電話・連絡	118回
訪問・同行支援	92回
面接	57回
他機関との調整	4回
その他	76回

(15) 生活支援体制整備事業

行政や保健所などの関係機関と協働で、地域力を高め、地域の課題を抽出するための地域支え合い会議を5地区で2回ずつ開催し、住民と共に吉賀町で住み続けられるために必要なアイデア出しをしました。地域の支え合い機能の向上を目指し、柿木公民館と合同で、地域支え合い研修会を開催しました。コロナ禍により、地域の繋がりが、一層うすれつつあり、対応策について、講師からご講演いただきました。

今年度は近年にない大雪で、七日市地区において、2年目となる雪かきボランティアマッチング事業において、近隣に住む登録ボランティアが独居高齢者宅の雪かきを行いました。

生活困窮者自立支援事業と連動しフードバンク事業において、新型コロナウイルス感染拡大によって所得の減少となった方などに食品の提供を行いました。

- ・フードバンク利用者延べ人数 225名（利用者22名）
- ・フードバンクの食品を提供した企業 5社

#### (16) 家計改善支援事業（生活困窮者自立支援事業）

生活が困窮し、家計の見直しが必要な方に支援ツールを活用し、家計管理に関するアドバイスを行いました。

必要に応じて、法律相談や貸付事業の活用を促し、生活の再建や自立を促す支援を行いました。

新規相談件数	3件
家計支援	150回
支援実績 電話・連絡	10回
訪問・同行支援	64回
面接	22回
その他	54回

#### (17) 就労準備支援事業（生活困窮者自立支援事業）

就労経験がない方、長期間の仕事の休みがある方、仕事が長続きしない方等、就労へのつまずきがある方に対して、アスノワを利用した就労体験の提供や企業への同行訪問を行い、仕事をしていく能力の向上に向けた支援を行いました。

相談対応	15回
支援機関との合同面接・打合せ	6回
企業訪問	5回
その他	1件

#### (18) シルバー人材センター事業

高齢者が働くことを通じて、生きがいを得て、地域社会の活性化に貢献する組織として、7年が経過し、順調に事業が伸長しました。会員数は91名となり、昨年度から11名増加となりました。受託件数は、目標700件に対して749件となり、目標を達成しました。契約金額は、目標1,650万円に対して請負金額が約1,670万円、派遣金額が約16万円となり目標金額を上回りました。

受注内容は、草取り・草刈り・剪定・伐採・障子張・ふすま張・農作業・清掃・空き家の片づけなど受注が例年どおり推移しました。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い4月に2週間活動停止しましたが、その後は、企業・家庭からの発注数も前年度並みに推移し、特に新型コロナウイルス感染拡大により、帰省できない方から除草作業・墓所の清掃などの依頼がありました。その他の受注で1月の除雪作業が昨年と比べ増加しました。令和2年度は千縁サービスを展開し、4件の受注がありました。

作業中の事故は、小規模な物損事故が3件、熱中症が2件ありましたが、会員の皆様の安全意識の向上により、大きな事故はありませんでした。

会員数	91人(2021年3月末日)
新規入会者	16名
退会者	5名

1) 請負受注実績 受注件数 749件

配分金合計	14,439,388円
資材費合計	838,675円
事務費合計	1,440,375円
配分金総合計	16,718,438円

2) 派遣受注額 受託件数 4件

就業延人数	42人
賃金	121,932円
手数料等	38,722円
合計	160,654円

3) 仕事別受注件数

除草作業	358件
植木選定	139件
清掃など	98件
農作業	22件
障子・ふすま張替え	46件
その他	86件
合計	749件

4) 発注先内訳

公共発注	85件
企業発注	129件
家庭発注	535件

総合計

749 件

5) 祭壇件数

0 件

3、 研修・会議

研修内容	参加人数
福祉委員研修会	52 名
ふれあいサロンリーダー研修会 8/25、1/13	70 名
ボランティア研修（東洋大学教授オンライン研修）	20 名
小地域ネットワーク研修 7/29	17 名
派遣元責任者システム研修（島根県連合会）	1 名
健康講座テイクテン六日市会場 2/10	17 名
健康講座テイクテン柿木会場 2/19	10 名
運営委員会 5 回	64 名
災害ボランティアセンター運営勉強会	1 名
益田地区社会教育連絡会	1 名
支え合いマップ勉強会	4 名
ふれあいまちづくり支え合いマップ研修会議	3 名
益田・鹿足成年後見センター	1 名
ファシリテータ養成研修	1 名
ふくしの学び推進セミナー	2 名
福祉教育実践研修会	2 名
日常生活自立支援事業専門員研修	2 名
日常生活自立支援事業研修会	1 名
社会教育会議	1 名
見守り訪問員傾聴ボランティア交流会	5 名
子ども・若者への向き合い方を学ぶ研修	3 名
ひきこもり支援従事者研修会	1 名
地域包括ケアシステム関係機関連絡会	2 名
地域支えあい会議 朝倉地区	2 回
地域支えあい会議 柿木地区	2 回
地域支えあい会議 六日市地区	2 回
地域支えあい会議 蔵木地区	2 回
地域支えあい会議 七日市地区	2 回

地域支え合い推進会議	2回
生活支援コーディネーター情報交換会	2名
生活支援コーディネーター養成研修（基礎）	1名
生活支援コーディネーターの為の研修会イン津和野	3名
地域支え合い研修会	12名
訪問員配置事業連絡会議	8名
益田圏域地域支え合いマップづくり打ち合わせ会	2名
生活福祉資金調査委員会	7名
法人後見運営委員会	10名

## 〈2〉 吉賀町訪問看護ステーション

### 1、 事業の主な取り組みと評価

訪問看護は「誰もが地域で安心して自分らしく生活していくために切れ目のない在宅医療が提供できる」という目標に沿って、在宅生活が安全、安心して継続していけるようにケアを提供しました。医療研修を実施し、医療技術のスキルの向上に努めました。また、退院カンファレンスに積極的参加し、関係機関との連携を行い、問題点を共有し、解決に向けていくように努めました。今年度看取りへの要望があり3件対応しました。よりよい看取りを進めていくため、デスカンファレンスを行い、多職種とケアの振り返りと課題についての検討を行いました。

### 2、 事業実績

月別		介護保険		医療保険	合計
		介護給付	予防給付		
4月	実人数	26	10	6	42
	利用回数	120	38	20	178
5月	実人数	24	10	7	41
	利用回数	107	34	26	167
6月	実人数	25	10	7	42
	利用回数	130	41	21	192
7月	実人数	26	10	9	45
	利用回数	126	35	58	219
8月	実人数	23	10	8	41
	利用回数	115	29	57	201
9月	実人数	25	9	8	42

	利用回数	123	32	50	205
10月	実人数	26	11	6	43
	利用回数	124	33	35	192
11月	実人数	23	11	5	39
	利用回数	86	35	43	164
12月	実人数	23	12	5	40
	利用回数	94	32	44	170
1月	実人数	22	12	5	39
	利用回数	88	30	24	142
2月	実人数	23	11	5	39
	利用回数	122	28	23	173
3月	実人数	26	12	6	44
	利用回数	144	36	22	202
合計	利用回数	1379	403	423	2205

### 3、 研修、会議

研修名	参加者数
権利擁護研修	5名
接遇マナー研修	7名
訪問看護療養費請求について	3名
メンタルヘルス研修	7名
精神科訪問看護研修	2名
フィジカルアセスメント	5名
看取りについて	5名
カフティポンプ研修	5名
地域福祉について（社協職員が地域で果たす役割）	7名
ACP 研修	6名
課内研修（総合相談支援課事業所）	2名

#### 〈3〉 吉賀町ケアマネセンター

##### 1、 事業の主な取り組みと評価

住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう、利用者や家族の意向を尊重した支援を行い、入退院時には医療機関との連携に努め円滑に在宅生活に復帰できるように努めました。

安定した事業運営に向け、法令遵守し特定事業所加算Ⅱの維持及び地域包括支援センターや病院等からの新規相談を積極的な受け入れ、昨年度より7件増の介護給付となりました。資格更新研修や各種研修会等に参加し介護支援専門



員としての資質向上に努め、事業所全体で解決ができるように情報の共有を図りました。

## 2、 事業実績

### (1) 居宅介護支援業務

- 1) 居宅サービス計画の作成 1, 559 件 (月平均 129. 9 件)
- 2) 要介護認定調査 79 件 (月平均 6. 6 件)
- 3) 住宅改修支援事業 0 件
- 4) サービス担当者会議開催  
利用者毎自宅、病院等で開催 (新規、更新時、変更時、入退院 (所) 時)
- 5) モニタリング  
毎月の訪問、事業所との随時連絡調整
- 6) 給付管理
- 7) 地域包括支援センターとの連携  
地域ケア会議 開催時  
ケアマネジメント支援会議、事例提出  
困難事例の相談、担当者会議の参加、同行訪問を依頼し支援の実施  
要介護から要支援、要支援から要介護へ移行する高齢者に対して情報提供や同行訪問を行い継続した支援の提供。
- 8) 関係機関との連携  
医療介護連携会議 年 4 回  
総合相談支援課連絡会議 年 6 回  
認知症初期集中支援チーム員会議 年 12 回  
退院・退所加算 38 件  
入院時情報連携加算 63 件
- 9) その他  
ケアマネ伝達会議毎週 1 回開催  
介護支援専門員実務研修見学実習生受入 1 名  
24 時間連絡体制を確保し、適宜相談業務実施

### 居宅介護支援費提出状況

月別	介護給付					合計
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
4 月	61	40	16	8	5	130
5 月	61	44	18	8	6	137
6 月	62	46	18	8	5	139
7 月	61	47	19	7	6	140

8月	59	48	16	6	3	132
9月	61	48	16	5	4	134
10月	59	46	17	7	5	134
11月	56	44	14	8	4	126
12月	54	46	14	8	4	126
1月	52	42	13	8	4	119
2月	59	37	13	8	4	121
3月	59	38	16	5	3	121
合計	704	526	190	86	53	1,559

(要介護1・2→12, 160円 要介護3・4・5→15, 790円)

(2) その他の業務

- 1) 在宅福祉等に関する各種総合相談
- 2) 福祉用具の紹介
- 3) 保健福祉サービスの利用申請手続きの受付、代行、その他
- 4) シルバー・ボランティアセンターへの相談、連絡

3、 研修、会議

研修名	参加者数
介護支援専門員更新研修【実務未経験者】	1名
権利擁護研修	4名
メンタルヘルス研修	4名
主任介護支援専門員研修	1名
地域支え合い研修	4名
意思決定支援研修	4名
益田圏域介護支援専門員協会主催 新型コロナウイルス感染症の対応 介護支援専門員の役割	1名
地域支え合い会議	4名
医療介護連携会議	1名
認知症初期集中支援チーム員会議	1名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 管理職員	
所属長会議	
職員会議	

## 〈4〉 吉賀町地域包括支援センター

### 1、 事業の主な取り組みと評価

吉賀町地域包括支援センターは住民一人ひとりが望む生活の継続を実現するため、さまざまな機会を通して住民やサービス利用者の意向や関係機関の意見を確認しながら事業をおこないました。吉賀町内の地域が抱える課題の抽出に向け、町や関係機関と協働しながら取り組みました。詳細は下記 2～5 にて報告します。

### 2、 事業実績

#### (1) 地域福祉事業

##### 1) 総合相談業務

気軽にできる相談窓口として、くらしもっと窓口内の部署と連携し、総合相談業務を行いました。関係機関の情報共有や意見交換と別に、各関係機関との連絡協議会等に参加し、現状把握と情報提供を実施しました。

新規相談件数	136 件
後見に関する相談	3 件
施設サービスに関する相談	7 件
要支援者・事業対象者に関する支援	2,410 件
地域密着型施設運営推進会議	のべ 12 回参加
民生委員との意見交換会（各支部会）	12 回参加

##### 2) 権利擁護業務

高齢になって様々な社会生活上の困難を抱えても、地域で自分らしく安心して生活できるよう権利侵害の予防や対応、権利行使の支援を行いました。虐待に関する相談や通報があった場合には、行政と連携をとりながら迅速に対応することを心がけて随時コアメンバー会議を開催しました。また、高齢者・障がい者虐待対応専門職チーム（弁護士・社会福祉士）と定期的な相談会及び連絡会を開催し、虐待対応についての検討を行いました。

成年後見相談件数	15 件（実人数 5 人）
益田鹿足後見センター定例会	4 回
コアメンバー会議（実件数）	10 回（10 件）
高齢者・障がい者虐待対応専門職チーム相談会	5 回

##### 3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域ケア会議の一部である個別ケース会議とケアマネジメント支援会議を

開催し、ケース検討と地域課題の検討を行いました。また、いつまでも住み慣れたまちづくりのための医療・介護の連携推進を目的に、六日市病院・行政・保健所・各福祉事業所で定期的に在宅医療・介護連携会議を行い、協議を重ねました。ACP の研修を開催しました。

個別ケース会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 回  
 ケアマネジメント支援会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11 回  
 (ケアマネジメント支援会議での事例検討数 23 件)  
 在宅医療・介護連携会議開催回数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 回

#### 4) 介護予防ケアマネジメント業務

事業対象者及び要支援 1、2 の介護予防ケアマネジメントを行いました。  
 介護予防ケアプラン件数は、年間合計 1,727 件、月平均 144 件でした。

##### a 介護予防支援 (介護保険ケアプラン)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	32	29	26	30	30	32	31	33	37	38	42	47
要支援 2	69	65	60	67	59	60	61	65	58	55	53	50
計	101	94	86	97	89	92	92	98	95	93	95	97

##### b 介護予防ケアマネジメント (総合事業ケアプラン)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者	18	17	17	16	16	15	14	13	16	13	13	14
要支援 1	17	16	15	16	18	16	17	19	19	21	21	21
要支援 2	16	17	13	21	18	17	17	14	16	15	19	17
計	51	50	45	53	52	48	48	46	51	49	53	52

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計(a+b)	152	144	131	150	141	140	140	144	146	142	148	149

#### (2) 一般介護予防事業

若返り測定隊(教室版) (4 回実施) のべ 103 人参加)  
 若返り測定隊(出張版) (3 回実施) のべ 45 人参加)  
 骨折転倒予防教室 (10 回実施) のべ 265 人参加)  
 からだ爽快教室 (9 回実施) のべ 373 人参加)  
 認知症予防講演会 (1 回実施) 56 人)  
 食事の講座 (1 回実施) 26 人)  
 言語聴覚士サロン訪問 (1 回) 15 人参加)

作業療法士サロン訪問（9回 のべ117人参加）  
 理学療法士サロン訪問（1回 9人参加）  
 管理栄養士サロン訪問（1回 7人参加）  
 シルバー人材センター健康講座（2回 のべ27人参加）

(3) 認知症対策事業

キャラバン・メイト養成講座（新規 3人参加）  
 認知症サポーター養成講座（1回開催 のべ8人参加）  
 認知症介護者の会（6回開催）  
 キャラバン・メイト連絡会（1回開催）  
 認知症初期集中支援チームチーム員会議（11回開催）

(4) 障がい者相談支援

障害のある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう相談支援事業を実施しました。

[相談支援件数]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画作成 (利用支援)	2	2	3	2	3	1	1	2	4	4	4	0	28
モニタリング (継続支援)	7	4	8	8	5	7	6	4	7	10	8	10	84

3、 研修・会議

研修内容	出席者数
介護支援専門員研修	1名
認定調査員等研修会	3名
相談支援従事者初任者研修	1名
地域包括支援センター職員基礎研修	1名
あいサポーター養成研修	1名
精神精神障がい者地域移行定着支援事業従事者研修会	1名
人権研修	1名
看取りケア	4名
糖尿病腎症重症化予防実践者育成講座	1名
老々介護の現状と課題	1名
成年後見センター総会及び定例会	9回
益田圏域認知症担当者連絡会	1名

益田圏域認知症ネットワーク会議	1名
就労に向けた相談会同席	2名
主治医との打ち合わせ（松ヶ丘、日赤）	2名
生活困窮相談対応研修	4名
地域移行支援・地域定着支援事業ケース検討会	1名
地域包括ケアシステム関係連絡会議	1名

## 〈5〉アスノワ（障がい者就労継続支援事業所）

### 1、 事業の主な取り組みと評価

今年度は「吉賀町民にアスノワ事業所を知っていただく」ことを目標に事業を展開しました。新型コロナウイルスの感染防止としてマスクの需要が高まったため、本格的にマスク作りに着手しました。その結果大きく収入を増やすことができ、利用者のやりがいや工賃アップに繋がりました。またマスクを地域の店舗や郵便局で販売したり、ふるさと納税返礼品等にする事で事業所のPRにつながりました。

利用者の体験実習を通して、町外からの利用やひきこもりの方の就労支援につなげることができ、新たに5名の利用登録がありました。

### 2、 事業実績

#### (1) 利用実績

- 1) 利用者定員：20名
- 2) 利用状況：利用者平均年齢：62歳
- 3) 障害種別：身体・知的・精神・難病など

月	開所日数 (日)	利用者人数 (人)	延べ 利用人数 (人)	1人平均 勤務時間 (H)	利用者 (1日平均利用 /定員)
4月	26	14	244	65.2	9.3
5月	26	13	230	68.3	8.8
6月	26	16	264	62.5	10.1
7月	27	16	255	60.2	9.4
8月	26	13	234	68.8	9.0
9月	26	14	240	64.1	9.2
10月	27	16	281	65.3	10.4

11月	25	16	260	61.3	10.4
12月	24	16	277	64.6	11.5
1月	22	15	236	58.4	10.7
2月	24	19	306	60.4	12.7
3月	27	18	326	67.9	12.0
合計	306	186	3,153		10.3

(2) 利用者への支払い工賃

- 1) 年間：2,727,915円
- 2) 月額：14,666円
- 3) 時間額：230円

(3) 利用者の仕事内容

委託先	作業内容	作業期間	収入額
とびのこ苑	館内の毎日清掃	通年	1,110,000円
みろく苑	館内の毎日清掃	通年	1,500,000円
七日市デイ	食事の配達・配膳	通年	804,000円
グループホームあさくら	食事の配達	4月～1月	270,000円
社協	福祉センター清掃	通年	120,000円
	下水清掃	通年	30,000円
吉賀町	保健センター館内の清掃	隔月	166,848円
	サクラマス交流センター 厨房などの清掃	通年	250,272円
吉賀町農業公社	やくろ周辺の環境整備	通年	617,100円
	らっきょう下処理	6～7月	25,630円
あかまつ工業	館内の毎日清掃	通年	52,222円
農家	ポップコーン		10,154円
農家	ししとう		10,000円
農家	栗むき		2,024円
島根県障がい者就労事業振興センター	エコバック・まわたんぼ 県備蓄用マスク		539,190円
郵便局、道の駅等	マスク		359,038円

その他：手芸品の売り上げ

(4) 利用者レクリエーション

実施月	内 容	場 所	参加者
8 月	アスノワ感謝祭	柿木公民館	職員 8 名 利用者 10 名
12 月	お楽しみ会	柿木公民館	職員 6 名 利用者 13 名

3、 研修、会議

研修名	参加人数
益田・鹿足地区生活支援会議	1 名
益田市子ども若者支援センター就労支援協議	1 名
障がい者就労事業振興センター連絡会議	1 名
益田圏域障がい就労支援事業所連絡会議	1 名
益田市社協就労準備支援事業及び子どものひきこもり講演会	1 名
発達障がい地域啓発セミナー	1 名
障がい者就労支援事業所説明会及び障がい者の就労支援研修会	1 名
県備蓄用マスク説明会	1 名
ACP 研修	3 名
あいサポート研修	2 名
清掃研修	1 名



## 《2》 介護保険課

### (1) 吉賀町ホームヘルパーステーション

#### 1、 事業の取り組みと評価

ご利用者の状況や困りごとを把握し、関係機関へ適宜報告を行い、介護計画や介護マニュアルを見直すなど、ご利用者が住み慣れた地域でその人らしく生活できるよう努めました。また、簡易浴槽を導入したことで、重度の方が在宅で寝たまま安全安楽に入浴することができました。

実績は、年度前半は利用回数が増えましたが、11月頃より入院、入所等で利用回数の減少がみられました。1年を通じて不就業の件数の削減に努め、安定した運営を図りました。

毎月1回職員会議、勉強会を行い、職員が相談や意見を言える場を持つことにより、参加意識を高めることができ、業務改善につながりました。また各自のスキルアップにもつながりました。

#### 2、 事業実績

##### (1) 介護保険事業

月別		総合事業			介護給付					合計	平均
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
4月	実人数	4	10	12	21	11	6	4	2		
	利用回数	21	63	81	199	192	76	19	5	656	21.8
5月	実人数	4	10	13	19	11	7	4	2		
	利用回数	15	43	74	189	190	77	24	9	621	20
6月	実人数	4	10	15	19	13	7	4	3		
	利用回数	18	36	90	167	204	47	25	9	596	19.8
7月	実人数	4	7	13	20	12	8	3	4		
	利用回数	18	41	84	171	202	60	24	66	666	21.4
8月	実人数	3	11	14	20	12	6	4	2		
	利用回数	13	44	92	169	197	47	30	7	599	19.3
9月	実人数	3	11	18	17	12	7	3	3		
	利用回数	12	58	104	148	163	41	16	7	549	18.3
10月	実人数	3	11	18	17	11	8	5	4		
	利用回数	13	46	107	140	157	41	27	24	555	17.9

11月	実人数	3	12	16	17	11	4	7	3		
	利用回数	17	54	90	136	142	28	53	8	530	17.6
12月	実人数	4	15	16	17	11	4	8	2		
	利用回数	19	68	87	117	161	24	105	8	589	19
1月	実人数	4	16	16	15	11	4	7	2		
	利用回数	17	64	74	118	156	22	77	8	536	17.2
2月	実人数	3	16	18	15	10	4	6	3		
	利用回数	16	72	88	101	138	25	60	8	508	18.1
3月	実人数	4	18	15	17	11	6	6	2		
	利用回数	23	86	101	117	188	30	80	6	631	20.3
合計	利用回数	202	675	1072	1772	2090	518	540	165	7034	19.3

(2) 障害者自立支援事業

障害者自立支援事業	利用者 14名	利用回数 533回
同行援護	利用者 1名	利用回数 15回
行動援護	利用者 1名	利用回数 21回
障害者移動支援事業	利用者 4名	利用回数 59回

(3) 移送事業

月別	利用者数	利用回数
4月	21	74
5月	18	65
6月	28	100
7月	26	93
8月	28	84
9月	28	88
10月	27	93
11月	22	71
12月	28	101
1月	24	61
2月	26	67
3月	34	108
合計	310	1005

(4) 生活管理派遣事業	利用者 1名	利用回数 12回
(5) 子育て支援ヘルパー	利用者 6名	利用回数 144回
(6) 軽度生活支援事業	利用者 20名	利用回数 82回

### 3、 研修・会議

研修名	参加人数
子育てヘルパー研修	3名
感染対策研修①	11名
感染対策研修②	10名
簡易浴槽の入浴方法の勉強会①	4名
簡易浴槽の入浴方法の勉強会②	5名
全職員大会 権利擁護研修	10名
全職員大会 メンタルヘルス研修	10名
調理実習	9名
全職員研修 地域福祉について	9名
財務管理研修	1名
障害福祉についての研修	9名
トランスファー研修	10名

#### 〈2〉 六日市デイサービスセンター

##### 1、 事業の主な取り組みと評価

令和2年度も前年度と同様に、利用者数、機能訓練加算の増加に焦点を当て事業運営を行いました。結果として、年度前半は利用数が増加し、後半は入院、入居等で減少がみられたものの、全体的には前年度に比べ約130人増となりました。サービスの質も意識しながら提供を心掛け、百歳体操や機能訓練に取り組み、利用者からは満足しているというご意見を多数いただきました。

職員は、日々業務改善に努め、業務の安定化や安全性の向上に取り組みましたが、事故件数が10件あったため、職員会議で話し合いを行い、事故防止や改善に努めました。コロナ禍で外部研修に参加できませんでしたが、内部研修に参加しスキルアップを図りました。

##### 2、 事業実績

###### (1) 介護保険事業

月別	稼働日	総合事業			介護給付					合計	平均	
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	実人数	22	5	9	11	21	11	7	3	1	68	
	利用回数		19	36	61	200	126	46	27	5	520	23.6

5月	実人数	21	5	9	10	19	13	8	3	1	68	
	利用回数		17	33	59	155	137	52	30	3	486	23.1
6月	実人数	22	5	7	13	17	13	6	3	1	65	
	利用回数		17	28	74	145	141	37	29	3	474	21.5
7月	実人数	23	5	6	12	16	14	7	3	1	64	
	利用回数		20	27	65	153	140	50	16	4	475	20.6
8月	実人数	21	5	8	13	16	13	6	1	1	63	
	利用回数		16	31	73	149	132	42	8	2	453	21.5
9月	実人数	22	4	10	13	17	14	6	1	1	66	
	利用回数		15	46	76	135	140	37	5	2	456	20.7
10月	実人数	22	4	9	13	16	12	6	1	1	62	
	利用回数		13	35	91	144	126	38	6	3	456	20.7
11月	実人数	21	4	10	15	16	10	4	1	1	61	
	利用回数		12	33	82	159	76	30	6	2	400	19.0
12月	実人数	23	4	11	15	18	9	5	2	1	65	
	利用回数		14	46	100	178	75	31	8	4	456	19.8
1月	実人数	19	4	15	14	20	8	5	3	1	70	
	利用回数		11	50	71	137	64	35	14	4	386	20.3
2月	実人数	20	4	13	16	20	8	6	2	1	70	
	利用回数		13	43	88	150	81	43	11	4	433	21.6
3月	実人数	23	4	13	14	20	10	7	2	1	71	
	利用回数		14	61	82	175	113	44	5	4	498	21.6
合計	利用回数	259	181	469	922	1880	1351	485	165	40	5493	21.2

## (2) 行事

療養音楽（毎月） 口腔ケア指導	避難訓練 福祉学習（吉賀中学校、六日市小学校）
--------------------	----------------------------

## 3、 研修、会議

研修名	参加人数
全職員研修：権利擁護研修	8名
全職員研修：メンタルヘルス研修	7名
全職員研修：地域福祉について	6名
トランスファー勉強会	4名

新創造計画	1名
リハビリカンファレンス	1名

### 〈3〉 七日市デイサービスセンター

#### 1、 事業の取り組みと評価

「SHINING～一人ひとりが生き生きと輝ける場所へ～」を目標に、レクリエーションや機能訓練内容を充実させ、利用者が楽しみながら介護予防ができるデイサービスを目指し、運営を行いました。事業実績は、年度全体を通して、要介護者の減少（他施設入居や長期ショート利用等の増加）や新規利用者の要支援者の増加傾向により、昨年度にくらべ約160人の減少となり、実績は伸びませんでした。

職員は、行事担当者として得意分野を活かしつつ、個々の利用者の特性や機能維持を意識してリハビリに取り組み、利用者に喜ばれました。また、内部研修を自事業所のみならず、他のデイサービス、ヘルパー事業所に出向いて行い、課内全体の身体介護のスキルアップを図りました。

#### 2、 事業実績

##### (1) 介護保険事業

月別	稼働日	総合事業			介護給付					合計	平均	
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	実人数	22	5	3	10	11	5	2	0	2		
	利用回数		24	13	67	113	49	24	0	15	305	13.8
5月	実人数	21	5	3	10	11	5	1	0	2		
	利用回数		16	10	73	120	54	4	0	23	300	14.2
6月	実人数	22	5	4	10	13	5	2	0	2		
	利用回数		16	10	72	125	47	8	0	22	300	13.6
7月	実人数	23	5	3	10	12	4	2	0	2		
	利用回数		20	13	67	121	45	17	0	20	303	13.1
8月	実人数	21	5	3	10	12	4	1	1	2		
	利用回数		20	10	58	102	40	3	17	25	275	13.0
9月	実人数	22	5	3	11	12	4	1	1	2		
	利用回数		19	11	76	93	32	3	2	21	257	11.6
10月	実人数	22	4	2	12	12	3	1	1	2		

	利用回数		18	8	81	106	34	4	13	12	276	12.5
11月	実人数	21	4	5	11	10	6	2	1	2		
	利用回数		16	14	65	90	52	4	12	24	277	13.1
12月	実人数	22	4	4	10	9	6	1	1	2		
	利用回数		20	15	67	75	63	5	17	18	280	12.7
1月	実人数	19	4	5	9	7	5	1	1	2		
	利用回数		15	18	48	68	28	2	12	18	209	11.0
2月	実人数	20	4	6	10	9	6	1	1	2		
	利用回数		16	20	56	69	38	4	16	19	238	11.9
3月	実人数	23	5	6	9	9	5	1	1	2		
	利用回数		17	25	62	98	44	5	13	24	288	12.5
合計	利用回数	258	217	167	792	1180	526	83	102	241	3308	12.8

(2) 行事

お花見（桜） 吉賀高校映画上映会 入浴剤づくり 干し柿作り お花見（アジサイ） 機能訓練指導 体力測定	お楽しみ会 運営推進会議 六日市学園生実習 避難訓練 口腔ケア指導 運動会
---	--

3、 事業実績

研修名	参加人数
全職員研修：権利擁護	4名
全職員研修：メンタルヘルス研修	4名
全職員研修：地域福祉について	4名
所内研修：身体の異常編	3名
所内研修：パーキンソン病編	3名
課内研修：トランスファー編	複数名
課内研修：バーセルインデックス編	複数名
管理者研修	1名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修（松江）	1名
新創造計画	1名
リハビリカンファレンス	1名

#### 〈4〉 柿木村デイサービスセンター

##### 1、 事業の主な取り組みと評価

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、4月5月はショートステイの中止に伴い、デイサービスの稼働が増えました。利用者数は10月までは横ばい傾向でしたが、その後新規も少なく(年間6名)、11月から入院者の増加や1月には大雪のため、利用者が減少し減収となりました。

作業療法士が配属となり、専門的な視点から個別機能訓練に取り組むことができました。利用者の個人ファイルを作り、職員や利用者が実施状況を把握できるようにし、一人一人にあった脳トレを実施したことで、利用者自ら進んで課題に取り組むようになりました。また、約2ヵ月ごとに物作りを行い、手の巧緻性の向上を図りました。

業務の効率化としては、コロナ補助金により iPad を2台購入し、ICT化に取り組む、記録の電子化を行うことができました。

学習と成長の視点としては、コロナの影響で外部研修に行くことができませんでしたが、内部の研修や社協での全体研修に参加しスキルアップを図りました。

##### 2、 実施事業

###### (1) 介護保険事業

月別	稼働日	総合事業			介護給付					合計	平均	
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	実人数	22	6	3	11	17	15	4	1	1	58	22.7
	利用回数		22	12	71	143	174	53	8	17		
5月	実人数	21	5	4	12	17	13	4	1	0	56	21.6
	利用回数		20	16	68	132	154	49	16	0		
6月	実人数	22	5	4	12	16	14	4	1	0	56	20.2
	利用回数		17	17	73	125	154	45	14	0		
7月	実人数	23	4	5	11	14	14	4	1	0	53	19.6
	利用回数		12	21	67	119	177	51	4	0		
8月	実人数	21	4	5	11	16	14	4	0	0	54	19.5
	利用回数		12	17	66	124	147	45	0	0		
9月	実人数	22	4	4	12	13	16	4	0	0	53	19.3
	利用回数		15	14	76	112	163	45	0	0		
10月	実人数	22	4	4	12	15	16	3	1	1	56	

	利用回数		15	14	68	127	157	36	5	2	424	19.2
11月	実人数	21	4	4	11	13	13	3	2	0	49	
	利用回数		12	15	69	104	127	26	8	0	361	17.1
12月	実人数	23	4	4	12	12	15	3	4	0	51	
	利用回数		11	15	78	98	152	36	7	0	397	17.2
1月	実人数	19	3	5	11	12	15	3	1	0	51	
	利用回数		9	13	63	78	122	26	7	0	318	16.7
2月	実人数	20	3	5	11	13	13	3	1	0	49	
	利用回数		9	18	61	93	128	28	8	0	345	17.2
3月	実人数	23	2	6	13	11	14	5	1	0	55	
	利用回数		9	26	91	109	151	52	8	0	446	19.3
合計	利用回数	259	163	198	851	1364	1806	492	85	19	4978	19.2

## (2) 行事

誕生会（毎月）	所外活動（年1回 紅葉狩り）
おやつ作り（柏団子、フルーツポンチ）	
六日市学園生受入れ（3名）	ものづくり工作

## 3、 研修、会議

研修名	参加人数
全職員研修：権利擁護	6名
全職員研修：メンタルヘルス研修	6名
全職員研修：地域福祉について	6名
所内研修：トランスファー研修	10名
新創造計画	1名
リハビリカンファレンス	1名



### Ⅲ. 施設福祉部

#### 《1》 特別養護老人ホームみろく苑

##### 1、 事業の主な取り組みと評価

みろく苑の運営理念を職員全員が意識し、入居者様やご家族の要望に耳を傾けながら支援を行いました。新型コロナウイルスの感染予防を徹底し、入居者・職員の体調管理に気を配りました。

今年度は看取り支援に取り組むことができ、1名の方の看取りを行うことが出来ました。看取り支援加算をはじめ、日常生活継続支援加算、生活機能連携向上加算の取得により更なるサービスの向上に努めました。

また、より快適な生活支援の為に、ベッド、車椅子の整備、更新と急速冷却器（ブラストチラー）を導入しました。

実績については、入院、空床は前年に比べ減少したものの稼働率は95.8%で目標の97%に到達せず、短期入所については、新型コロナウイルス感染防止対策のため4、5月の受け入れ制限と利用者数の減少により稼働率60.8%で減少となりました。

##### 2、 事業実績

###### (1) 動向

月	入居者	退居者	入院者数	入院延べ 日数	元年度入院 者数 (苑全体)	元年度入院 延べ日数 (苑全体)
4月			0名(小) 3名(地)	0(小) 28(地)	5名	41日
5月		2名(地域)	1名(小) 4名(地)	31(小) 89(地)	7名	118日
6月	3名(地域)	2名(地域)	2名(小) 3名(地)	19(小) 35(地)	4名	44日
7月	1名(地域)	1名(地域)	2名(小) 1名(地)	8(小) 27(地)	6名	71日
8月	1名(地域)	1名(地域)	1名(小) 1名(地)	11(小) 14(地)	4名	41日
9月	1名(地域)		1名(小) 1名(地)	2(小) 14(地)	4名	51日
10月	1名(地域)	1名(地域)	1名(小) 1名(地)	7(小) 12(地)	5名	72日

11月			1名(小) 0名(地)	6(小) 0(地)	4名	73日
12月			3名(小) 2名(地)	41(小) 31(地)	6名	75日
1月	1名(地域)	1名(小規模) 3名(地域)	1名(小) 3名(地)	31(小) 41(地)	3名	28日
2月	1名(小規模) 2名(地域)		2名(小) 1名(地)	41(小) 28(地)	6名	103日
3月		1名(地域)	3名(小) 1名(地)	47(小) 29(地)	4名	14日
合計	11名	12名	39名	592日	58名	731日

(2) 介護度別人数

月	要 介 護 度					平均値
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	0	8	12	14	16	3.8
5月	0	8	12	13	17	3.8
6月	0	7	11	16	17	3.8
7月	0	7	10	16	17	3.9
8月	0	6	10	17	17	3.9
9月	0	6	11	15	18	3.9
10月	0	5	12	15	19	3.9
11月	0	4	12	15	19	4.0
12月	0	4	12	15	19	4.0
1月	0	4	12	17	18	4.0
2月	0	3	13	16	18	4.0
3月	0	3	12	17	18	4.0

(3) 短期入所生活介護サービス利用状況

月別	前年度のべ利用者数	今年度のべ利用者数	稼働率
4月	187	62	25.8
5月	207	80	32.3
6月	219	149	62.1
7月	214	201	81.0
8月	221	196	79.0
9月	199	167	69.6
10月	209	188	75.8

11月	199	179	74.6
12月	215	157	63.3
1月	203	185	74.5
2月	121	144	64.3
3月	72	156	62.9

### 3、 研修、会議

研修名	参加人数
全職員研修	43名
入職時研修（随時）	4名
事故対応研修、感染予防ガウンテクニック研修	37名
権利擁護研修	42名
褥瘡防止研修	31名
権利擁護研修（身体拘束について）	25名
コロナウイルス感染対策研修会	2名
メンタルヘルス研修	45名
史上最高の事業所を目指すための研修	28名
看取り研修、死生観について	19名
社協職員として地域とのかかわり研修	38名
管理者研修	2名
財務管理研修	6名
事故防止、感対対策研修	33名
権利擁護研修	22名
リーダー・主任研修	16名
弁護士研修会	6名
人事評価制度についての研修会	6名
認定調査研修会	1名
YYK（より良い介護）月2回	延べ128名

その他

家族へ看取りについてのアンケート、オンラインの状況についての調査実施

## 《2》 特別養護老人ホームとびのこ苑

### 1、 事業の取り組みと評価

とびのこ苑での生活を継続していただくために、多職種連携で生活支援を行いましたが、入居者様の重度化、高齢化により常時入院があったため、稼働率が94.6%と前年度を下回りました。短期入所については、新型コロナウイルス感染症予防で4月・5月の受け入れを中止したため、稼働率が伸びず、59%にとどまりました。

自立支援介護の取り組みについては、何を望まれているのか入居者様の思いをくみ取り、そのうえで専門職としてどのような介入が望ましいのかを考えて方針を立てるということを行いました。また、看取りについては、最期の日までをその人らしく過ごせること、安楽で安心できる環境を提供することに努め、8名の方の看取りを行いました。

施設整備では地域密着の居室のエアコン交換、浴室の天井走行リフトの設置を行い、入居者様の安全と職員の身体的負担軽減ができました。また、食材を急速に冷やす冷却器を導入し、吉賀町の米を3食食べていただけるようになりました。

### 2、 事業実績

#### (1) 動向

月	入居者	退居者	入院者数	入院延べ日数	元年度入院者数 (苑全体)	元年度入院延べ日数 (苑全体)
4月	1名(小規模)	1名(地域)	5名(小) 1名(地)	76(小) 28(地)	2名	9日
5月	3名(小規模) 1名(地域)	3名(小規模)	5名(小) 1名(地)	30(小) 7(地)	5名	86日
6月			5名(小) 3名(地)	36(小) 19(地)	4名	65名
7月			3名(小) 3名(地)	52(小) 44(地)	3名	35日
8月	1名(小規模) 1名(地域)	2名(小規模) 1名(地域)	2名(小) 4名(地)	21(小) 54(地)	2名	12日
9月	1名(小規模)		5名(小) 3名(地)	65(小) 45(地)	3名	23日
10月		2名(小規模)	6名(小)	80(小)	5名	45日

	1名(地域)	1名(地域)	1名(地)	15(地)		
11月	3名(小規模)	1名(小規模)	2名(小) 3名(地)	39(小) 24(地)	4名	39日
12月	2名(小規模)	2名(小規模)	1名(小) 2名(地)	2(小) 12(地)	8名	72日
1月	1名(地域)	1名(地域)	3名(小) 4名(地)	11(小) 40(地)	5名	36日
2月			5名(小) 1名(地)	42(小) 21(地)	6名	103日
3月	2名(小規模)	2名(小規模)	3名(小) 2名(地)	36(小) 35(地)	6名	111日
合計	17名	16名	73名	834日	53名	636日

(2) 介護度別人数

月	要 介 護 度					平均値
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	0	1	14	20	15	4.0
5月	0	1	14	23	15	4.2
6月	0	1	14	21	14	4.0
7月	0	1	14	21	14	4.0
8月	0	1	15	23	14	4.2
9月	0	1	13	23	14	4.1
10月	0	1	11	24	15	4.1
11月	0	1	11	23	16	4.1
12月	0	1	11	23	17	4.2
1月	0	1	9	22	19	4.2
2月	0	1	9	21	19	4.2
3月	0	1	8	23	20	4.4

(3) 短期入所生活介護サービス利用状況

月別	前年度延べ利用者数	今年度延べ利用者数	稼働率%
4月	85	0	0
5月	105	0	0
6月	137	38	31.7
7月	124	98	79.0
8月	101	86	69.4

9月	83	92	76.7
10月	110	105	84.7
11月	117	88	73.3
12月	104	83	66.9
1月	115	94	75.8
2月	94	82	73.2
3月	27	95	76.6

### 3、 研修、会議

研修名	参加人数
全職員研修	46名
リーダーのための人材育成研修	6名
認知症介護基礎研修	2名
メンタルヘルス研修	47名
史上最高の事業所を目指すための研修	36名
社協職員としての地域とのかかわり研修	38名
財務管理研修	5名
権利擁護研修	26名
感染症研修	35名
完全側臥位法介助研修	15名
事故防止研修	34名
虐待防止研修	35名
ACP 研修	2名
チームリーダー研修	14名
OT 研修	5名
看取り研修	29名
権利擁護研修	15名
事故防止研修	27名
COVID19 発生施設から学ぶ	3名
社協中堅職員研修	1名
権利擁護推進委員養成研修	1名
新型コロナウイルス感染対策研修	1名
認定調査研修会	1名
認知症介護実践者研修	1名
財務管理研修	5名

### 《3》 グループホームあさくら

#### 1、 事業の取り組みと評価

令和2年度は、重点目標である「個人の尊厳や意思を尊重したその人らしい生活」に向けた支援の実践を目指しました。新型コロナウイルスの感染防止のため外部研修が中止となったため、事業所で研修を実施し、業務の中で入居者の言動を否定しないよう雰囲気づくりをしながら権利擁護への意識付けを行いました。

地域活動が制限される中、数少ない貴重な機会を活かし3名の入居者が出身地域へのサロンに参加しました。またグループホームで畑づくりを行い、収穫できた野菜を売ることによって地域とのつながりを持ち、コロナ禍でも単調な生活にならないよう工夫をしました。

各医療機関や訪問看護との連携のもと健康管理に努めた結果稼働率が98.6%となり、目標稼働率を達成することができました。

#### 2、 事業実績

##### (1)利用状況

(単位：人・日・%)

月別	利用者数	延利用者数	予防給付	介護給付					稼働率
				要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	
4月	9	270	0	2	3	3	1	0	100
5月	9	279	0	2	3	3	1	0	100
6月	9	254	0	2	3	3	1	0	94.1
7月	9	276	0	2	3	3	1	0	98.9
8月	9	258	0	2	3	3	1	0	92.5
9月	9	269	0	2	3	3	1	0	99.6
10月	9	279	0	2	3	3	1	0	100
11月	9	266	0	2	4	2	1	0	98.5
12月	9	279	0	2	4	3	0	0	100
1月	9	279	0	2	4	3	0	0	100
2月	9	252	0	2	3	4	0	0	100
3月	9	279	0	1	5	4	1	0	98
合計		3240	年間稼働率 $3240 \div (365 \times 9) = 98.6\%$						

## (2) 通所介護

(単位：人・回)

月別	利用者 数	延利用 者数	支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4月	3	16	0	4	12	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	2	18	0	0	17	0	0	1
7月	2	25	0	3	21	0	0	1
8月	2	25	0	0	25	0	0	0
9月	2	24	0	0	20	4	0	0
10月	3	25	0	0	20	4	0	1
11月	2	25	0	0	20	5	0	0
12月	3	18	0	0	17	1	0	0
1月	1	15	0	0	15	0	0	0
2月	1	19	0	0	19	0	0	0
3月	1	25	0	0	21	4	0	0
合計		235	0	7	207	18	0	3

## (3) 行事

戸外活動（初詣、お花見、外出支援、紅葉狩り、りんご狩りなど）

地域の百歳体操、地域サロン参加

手作り食事、手作りおやつ

誕生日会（毎月）

畑作業、花壇作り

東部技術学校実習生受け入れ

六日市学園介護実習生受け入れ

## 3、 研修、会議

研修名	参加人数
認知症介護事業所内研修	9名
権利擁護研修	9名
メンタルヘルス研修	8名
看取りケア研修（死生観について）	8名
社協全職員研修（社協職員が地域で果たす役割）	8名
財務管理研修	1名



#### IV. 苦情・要望の内容一覧表

	発生時期	部署名	苦情・要望の概要
1	7月	ケアマネセンター	利用者・家族への情報提供不足 ケアマネの対応
2	7月	法人	新型コロナウイルス感染防止に関連した、職員の言動
3	7月	ヘルパーステーション	家事支援の内容 家族への説明・意思疎通の不足
4	7月	七日市デイサービスセンター	利用者への対応
5	9月	訪問看護ステーション	利用者への説明・確認不足
6	9月	訪問看護ステーション	訪問先でのボランティアに対する職員の対応
7	9月	ヘルパーステーション	介護タクシーのサービス内容
8	11月	みろく苑	土日の事務所開所
9	11月	総合相談支援所	福祉委員に対する事務連絡の不備
10	1月	ヘルパーステーション	訪問先での身体介護に関連した職員の言動
11	3月	総合相談支援所	関係機関に対する職員の言動
12	3月	総合相談支援所	関係者への職員の言動と事務手続きの不備

## 事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人 吉賀町社会福祉協議会